

第2回下呂市職員「職場内研修」の実施要綱

1. 目的

合併によって組織が大きくなり、役所内部の情報共有が難しくなっています。このため職員の自己啓発による能力向上と、市政における重要テーマに対する情報共有を進め、市役所一丸となった政策展開を目的として実施するものです。

2. 研修のテーマと開催日時等

テーマ	開催日時	場所	定員
行政改革	平成18年10月12日(木) 午後6時30分～	下呂ふれあいセンター3階	約50名
ITの利活用	平成18年10月16日(月) 午後6時30分～	下呂庁舎3階会議室	約30名
地域資源 地産地消 観光	平成18年10月25日(水) 午後6時30分～	下呂ふれあいセンター3階	約50名
重要施策 廃棄物処理施設 コンベンションアリーナ 保育園民営化	平成18年10月31日(火) 午後6時30分～	下呂ふれあいセンター3階	約50名
財政事情	平成18年11月7日(火) 午後6時30分～	下呂市民会館2階大会議室	約80名
高齢化対策	平成18年11月14日(火) 午後6時30分～	星雲会館 西風の間	約50名

詳細は別紙を参照してください。

3. 受講申し込み

- ・ テーマごとにしらさぎネットの回覧等で担当課から案内されるので、それに従い申し込んでください。
- ・ 重要施策と地域資源及び高齢化対策については行政改革推進課が、それ以外は担当課が案内をします。
- ・ しらさぎネットに接続していない職員の方には、所属長から周知され、申し込みをとりまとめるうえ担当課までご連絡願います。

4. テキスト等

- ・ 行政改革大綱における「自主研修グループの支援」の一般としてテキストは市で負担します。
- ・ 配布はしらさぎネットでの配信、会場での配布など研修によって異なります。注意してください。

5. その他

- ・ 勤務終了後の研修であり、お疲れのことと思います。往復の交通安全には十分注意してください。
- ・ 各職場において、職員の受講に対してご配慮いただけますようお願いいたします。
- ・ 受講申し込み者が多数の場合、会場変更や複数回の開催などの対応をします。

行政改革	<p>下呂市の現状から見た行政改革の必要性と、具体的先進事例を解説します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公共サービス改革法及び提案型委託制度(愛知県高浜市) ・美濃加茂市の改革事例 <p style="text-align: right;">【行政改革推進課】</p>
ITの利活用	<p>現在、住民記録・財務会計・上下水道・健康管理・介護、福祉、教育など、多くの基幹業務において電算システムが、行政ネットワーク上で運用されています。さらに最近では、金融機関との電子決済や、電子入札・物品調達などのシステムが運用され、BPOなど、電算業務を含めた一部業務全体のアウトソースも進められています。こうした状況の中で、下呂市としての今後の取り組み(予定)について考察します。</p> <p style="text-align: right;">【情報課】</p>
重要施策	<p>「廃棄物処理施設」</p> <p>下呂市のごみ焼却場の整備が大きな課題となっていますが、ごみの量、法規制、現施設の耐用年数の問題からその必要性を解説し、市の考え方を説明します。</p> <p style="text-align: right;">【水道環境部】</p>
	<p>「コンベンションアリーナ整備事業」</p> <p>下呂市にとって大プロジェクトである南飛騨総合健康アリーナ(仮称)について、施設概要や今後のスケジュール等を説明します。</p> <p style="text-align: right;">【まちづくり推進室】</p>
	<p>「保育園の公設民営化」</p> <p>民営化(アウトソーシング)は、保育園だけでなく、今後、様々な分野で検討が進みます。何故保育園の民営化が必要なのか？どんな効果があるのか？等を解説しながら、今後のより良いアウトソーシングについて考察します。</p> <p style="text-align: right;">【子育て支援課】</p>
地域資源	<p>「地産地消」</p> <p>地元で生産した農産物を地元で消費する地産地消は、持続可能な地域社会及び経済の振興における重要な手段として各地で効果をあげています。下呂市においても、観光客や学校給食、地域住民に対する地産地消のサイクルの形成に向けて取り組んでいます。この研修では、地元の特産品や地産地消の取り組みを紹介しながら、地元農産物の良さと地産地消の効果を解説します。</p> <p style="text-align: right;">【農林部】</p>
	<p>「観光」</p> <p>年間120万人の宿泊客が訪れる下呂市。中でも下呂温泉には108万人が訪れ、日帰り客を含めると約220万人の観光客が訪れています。経済効果も試算によると、518億4千万円に及びます。観光客が訪れることによる消費、雇用、交通通信など、経済波及効果は非常に大きいものと推測され下呂市の財政にも大きく影響することは否めません。下呂市には観光資源が豊富にあり、エージェンツ等が商品化できる魅力等を提供しなければなりません。このためには、市民、市職員が積極的に情報発信し、観光客誘致のため、観光案内人としての役目を担うことも必要です。</p> <p style="text-align: right;">【観光課】</p>
財政事情	<p>現在の財政状況</p> <p>歳入、歳出の概要や財政指標にみる下呂市の状況について</p> <p>中長期財政計画について</p> <p>国や県の動向、今後の下呂市の財政予測について</p> <p>予算編成について</p> <p>平成19年度予算編成のポイントについて</p> <p>事務事業評価、枠配分予算などの導入による予算編成の検討について</p> <p style="text-align: right;">【財政課】</p>
高齢化対策	<p>後期高齢者医療保険</p> <p>75歳以上を対象とする新たな公的医療保険のことです。2年足らず先の平成20年年4月導入に向け、準備作業が本格化します。制度の概要について説明をします。</p> <p style="text-align: right;">【市民課】</p> <p>介護保険制度</p> <p>大きな高齢化対策であり多くの高齢者が利用されている介護保険制度、下呂市における高齢化対策の問題点と対策について説明します。</p> <p style="text-align: right;">【福祉課・介護保険室・地域包括支援室】</p>

「重要施策」、「地域資源」、「高齢化対策」については、行政改革推進課が案内します。
それ以外は、それぞれの担当が案内します。